

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第9号	令和6年4月17日	伊予市役所	総務部 危機管理課
題 目(テーマ):愛媛県内断層の活断層化確認			
提 案 理 由(要旨)			
<p>先日のグーグルトップニュースで確認したが、今後M7.5以上発生すると言われる日本列島10か所に、愛媛県内の断層があることが記載されていた。その断層は、米湊断層か石鎚断層のいずれかと思われる。いずれも日本一長い断層である中央構造線断層帯である。伊予市内米湊断層は、2011年尾崎地点において、ボーリング調査や反射法地震調査を実施し、活動性は低いという結果で安心していた。ところが、今回、指摘の活断層が米湊断層か石鎚断層にしても、伊予市では万全な対策をする必要性があります。</p> <p>本件が事実なのかどうか確認して頂き、教示願いたいです。</p>			
回 答 内 容			
<p>「愛媛県内断層の活断層化確認」に関して貴重な御意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>いただきました御意見につきまして、次のとおりお答えいたします。</p> <p>地震調査研究推進本部(地震防災対策特別措置法に基づき、行政施策に直結すべき地震に関する調査研究の責任体制を明らかにし、これを政府として一元的に推進するため総理府(現・文部科学省)に設置された政府の特別機関)によりますと、今後30年以内に3%以上の確率でM7.5以上の地震活動が予想される内陸の活断層は日本列島に10か所ありますが、その中に中央構造線断層帯として米湊断層を含む伊予灘区間も、また石鎚断層を含む石鎚山脈北緑区間も含まれていませんでした。(石鎚断層を含まない石鎚山脈北緑西部区間が10か所のうちの一つでした。)</p> <p>しかしながら、今後M7.5以上の地震が、石鎚山脈北緑西部区間と連動して米湊断層を含む伊予灘区間でも発生する可能性は否定できませんので、地震に関する情報発信や備えについての周知啓発など、引続き鋭意取り組んで参りたいと存じますので、今後とも御理解を賜りますよう、お願い申し上げます。</p>			